



火の見やぐら



No. 21

秋季検閲式



10月22日、三春中学校体育館において、平成29年度三春町消防団秋季検閲式が行われました。

台風の影響で規模を縮小し屋内での実施となりましたが、大隊の編成、町長と団長による通常点検を行い、副団長の指揮のもと一糸乱れぬ動きを披露しました。

「自分たちの町は自分たちで守る！」を信念に、今後も三春町消防団一丸となり消防・防災活動に取り組んで参ります。

引き続き町民の皆様のご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。



通常点検のようす



秋季検閲式表彰

【平成29年度優良分団】

中妻分団

【平成29年度功労団員】

中郷分団 部長 宗像 昌宏

沢石分団 団員 渡邊 任

中郷分団 部長 黒羽 正彦

沢石分団 団員 岩崎 寛亮

中郷分団 部長 佐藤 宏昭

中郷分団 部長 過足 宏和

平成29年度下期 消防団活動報告



分団長研修

10月28～29日に三春町消防団分団長研修を行いました。江戸時代から現代までの消防の歴史に触れながら、防火・防災を学べる東京消防博物館を見学しました。



1階エントランスでは、昭和57年まで現役で活躍した消防ヘリコプターがお出迎えしてくれます。

現代消防の基礎が築かれた明治時代の活動から、現代の消防までの発展を紹介しています。



火の神を祀っている愛宕神社を参拝しました。1603年、慶長8年、江戸に幕府を開いた徳川家康公の命により防火の神様として祀られました。

三春町が災害のない安全・安心の町になるよう祈願して参りました。



防火パレード

11月12日、三春町消防団による防火パレードを実施しました。

役場前にて出発式を行い、地元分団車両を先頭に、町内を一周し火災予防を呼びかけました。

各分団における水利確認及び有事の際の走行ルートの確認も行いました。



副分団長研修

11月18～19日に三春町消防団副分団長研修を行いました。

副団長、各副分団長、三春分署副分署長が参加し、栃木県鹿沼市の古峯神社を参拝しました。

古峯神社



古峯神社の御祭神は日本武尊(ヤマトタケルノミコ)を祀っています。日本武尊の御神徳は、現在の静岡県で火難を除かれた故事により、火防の神として絶大なる信仰を仰いでおります。

防災体験学習施設 そなエリア東京



自分の身は自分で守る。
知識と備えが大切です。



むらさき会

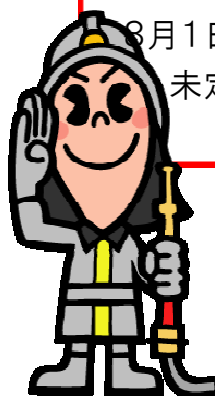
11月26日、若松屋旅館にて消防むらさき会を実施し、歴代の分団長など38名が参加しました。

歴代分団長と現役消防団幹部が意見交換を行いました。



平成30年度上半期事業計画

- 4月 2日 消防団辞令交付式
- 5月27日 春季検閲式
- 7月22日 消防協会田村支部
消防操法大会
- 8月1日～ 夏の火災予防運動
- 未定 第41回福島県消防
操法大会





火災は身近なものが原因で起きています！



建物火災のうち、住宅火災によって亡くなった方の割合は平成28年中で88%ととても高い数値となっています。また、その7割近くが高齢者です。

住宅などの財産だけではなく命をも奪う恐ろしい火災。

住宅火災の多くは、普段のちょっとした不注意や火の不始末などから起きています。

一人ひとりが日頃から意識し、火の用心を心がけましょう。まずは身近なことから始めてみませんか？

住宅防火

いのちを守る7つのポイント

対策4
お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

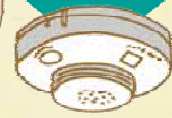


対策3
火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

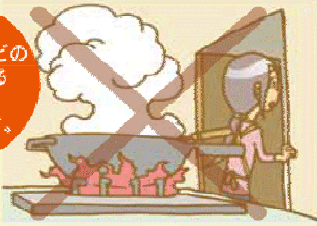
対策2
寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。



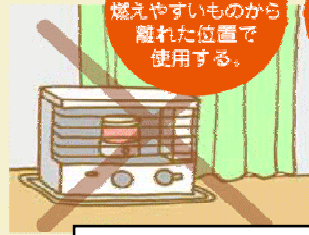
対策1
逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。



習慣3
ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



習慣2
ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。



習慣1
寝たばこは、絶対やめる。



総務省消防庁ホームページ内住宅防火関係より引用

こんなときどうする？



油が入っている鍋に火がついた！

- 1 ガス栓やコックを閉める。
- 2 鍋に合った蓋、もしくはシーツやバスタオルなどの大きい布をぬらしてかぶせる。
※空気を遮断させましょう！

電化製品から火が出た！
プラグを抜くかブレーカーを落とす。
シーツや毛布などを水でぬらしかぶせる。



カーテン・ふすま・障子が燃え出した！

- ・カーテンは引きちぎって消火。
- ・ふすまや障子は蹴り倒して足や座布団で踏み消す。

※上に燃え広がる前の対処が重要です。

